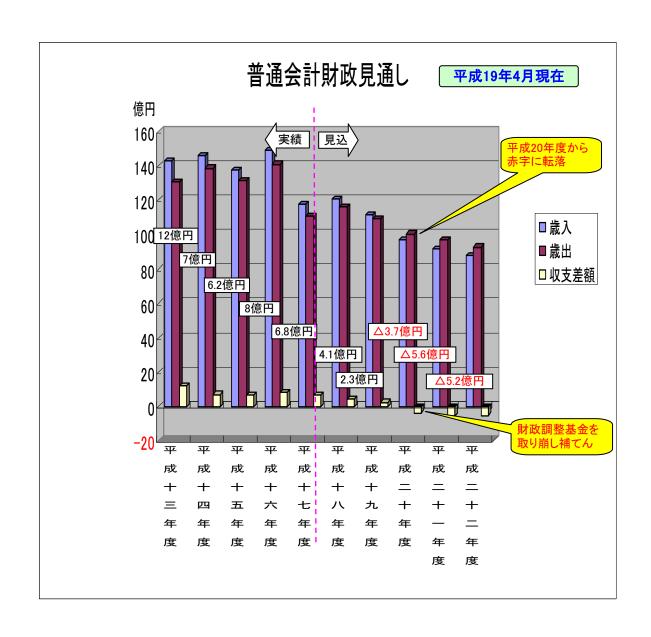
# 第一次鏡野町行財政改革の取組実績

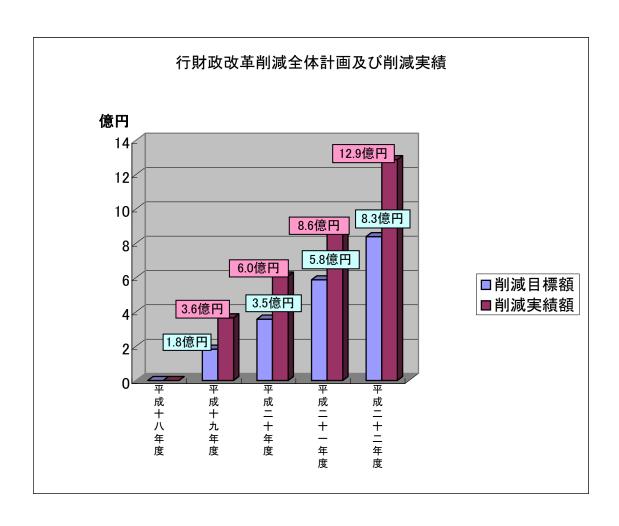
# 1. 行財政改革実施計画策定の背景

平成17年3月1日に苫田郡西部の4町村が合併した新鏡野町は、極めて厳しい財政状況にあり、このため鏡野町行財政改革審議会の平成18年5月の一次答申と、同年11月の二次答申を受け、また平成18年3月策定の「集中改革プラン」に基づき、平成19年1月に「鏡野町行財政改革実施計画」を策定しました。

この計画では、平成22年度までの4年間に、鏡野町行財政改革審議会の答申内容と集中改革プランに定めた事項を基本に、6項目を重点的に取り組むこととしています。

計画策定時の普通会計財政見通し及び平成19年度から平成22年度までの、4ヵ年の取組実績は下記のとおりです。





# \* 平成19年度から4ヵ年の取組実績

(単位:千円)

項目	H19年度 実績効果額	H20年度 実績効果額	H21年度 実績効果額	平成22年度 実績効果額	計画期間 全体の 実績効果額	実績効果額 全体に占める 構成比率
1. 事務事業の再編・整理合理化	93,113	226,366	219,640	292,696	831,815	26.6%
2. 公共施設の管理運営の見直し	8,457	20,577	59,444	46,678	135,156	4.3%
3. 補助金の整理合理化と恊働のまちづくり	7,586	11,608	11,779	35,066	66,039	2.1%
4. 行政組織機構の再編と給与・定員適正化(一般行政部門の職員削減数)	(△14人)	(Δ3人)	(△5人)	(Δ3人)	(△25人)	
5. 財政の適正かつ健全な運営	255,854	348,938	550,397	891,835	2,047,024	65.3%
6. 委員会等のあり方	105	1,233	25,469	26,078	52,885	1.7%
合 計	365,115	608,722	866,729	1,292,353	3,132,919	100.0%

# 2. 効果の概要

第一次行財政改革での達成状況の概要は、次のとおりです。

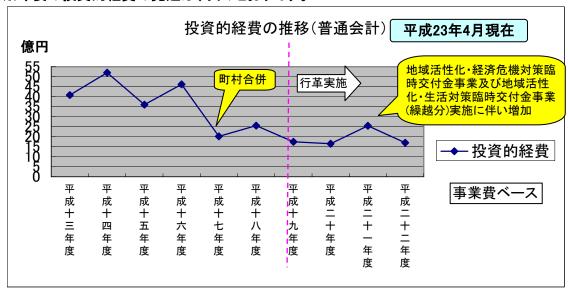
#### (1)事務事業の再編・整理合理化

① 経常経費の見直し 【歳出削減額: 111,724千円】

② 投資的経費の見直し 【歳出削減額: 514,160千円(一般財源)】

(普通建設事業等に係る一般財源の節減等)

### ※今後の投資的経費の見込は、次のとおりです。



③ 委託事業の見直し 【歳出削減額: 75,613千円】

(ゴミ収集業務委託の一元化による削減等)

④ 第3セクター法人等の統廃合・整理見直し 【歳出削減額: 21,194千円】 (公社への出向職員の引揚等による削減)

⑤ イベント・行事・交流事業の見直し 【歳出削減額:39,191千円】 (イベント事業の廃止・見直し等による削減)

⑥ 学校給食センターの統合 【歳出削減額: 33,208千円】

⑦ 交通網の再編 【歳入効果額:838千円】

(路線の見直し等による運行収入の増加)

⑧ その他事務事業の見直し 【歳出削減額: 35,887千円】 (振興センター宿直業務の廃止。連絡所業務の廃止等)

## (2)公共施設の管理運営の見直し

① 観光施設、文化施設及びスポーツ施設等に係る経費の節減 【歳出削減額: 135,156千円】 (管理運営経費の削減等)

#### (3)補助金の整理・合理化と協働のまちづくり

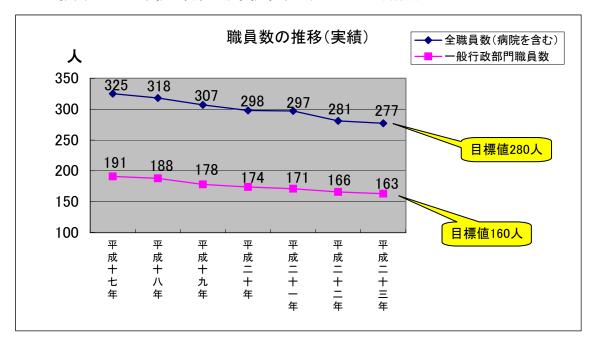
① 組織育成補助金と団体運営補助金の見直し 【歳出削減額: △607千円】 (観光振興協議会への補助金の増額等)

② 事業補助金の見直し 【歳出削減額: 66,646千円】 (補助事業の交付要件等の見直し及び福祉年金支給事業の廃止による削減等)

# (4) 行政組織機構の再編と給与・定員適正化

#### ① 定員の適正化

【職員削減数 H18年度:11人 H19年度:9人 H20年度:1人 H21年度:16人 H22年度:4人 (病院を含む全職員対象)】 (退職勧奨制度を拡充し早期退職による削減や、退職に伴う新規職員の採用抑制、課の統廃合及 び振興センター業務の見直し、事務事業の合理化により削減した)



#### (5)財政の適正かつ健全な運営

① 町税・国保税、水道・下水道使用料及び保育料の徴収体制の強化 【歳入効果額: 282,259千円】

② 未利用財産の有効利用

【歳入効果額: 17,173千円】

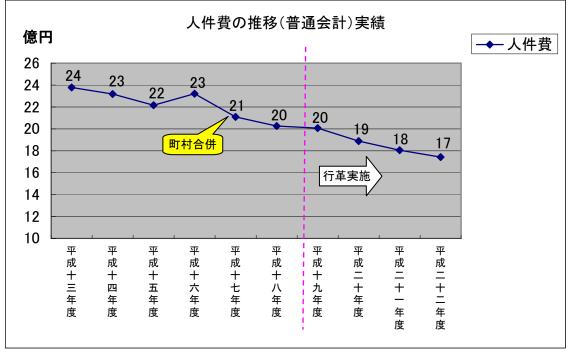
③ 基金等の運用

【歳入効果額: 61.825千円】

(基金の運用を定期預金から一部国債に変更し利子の増加を図るなど、積極的な基金運用を行った)

④ 人件費の削減

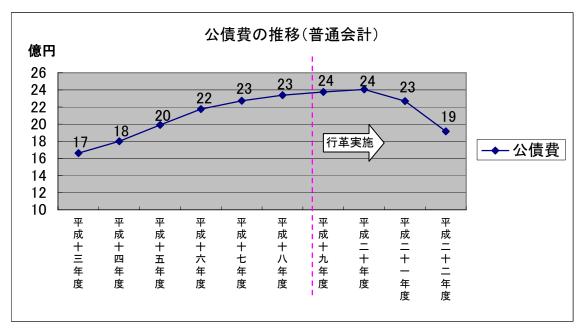
【歳出削減額: 1,151,344千円】



# ⑤ 公債費の削減

## 【歳出削減額: 534,423千円】

(毎年度の起債発行額を元金償還額の70%以内に抑制し、後年度における公債費の削減を図った)

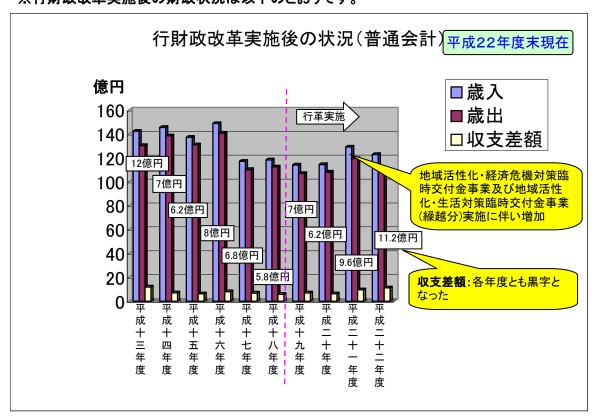


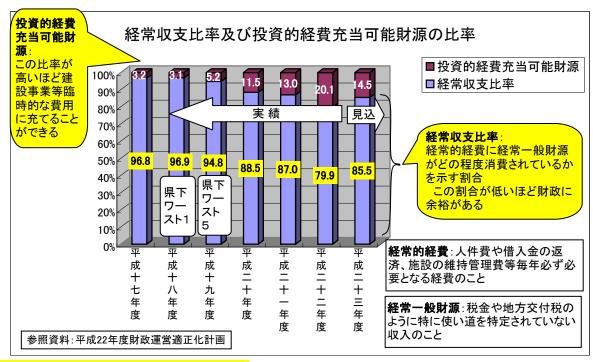
※公債費とは、町が道路や学校などをはじめとした社会資本の整備に充てるため、国や銀行などから借り入れた借金(地方債)を返済する費用です。

## (6)委員会等のあり方

① 各種委員会の報酬等の見直し 【歳出削減額: 52,885千円】 (議員定数の削減及び各種委員会の委員等報酬の削減等)

## ※行財政改革実施後の財政状況は以下のとおりです。





## 3. まとめ

平成19年度から平成22年度までを計画期間とする第一次行財政改革では、計画期間全体の目標効果額に対する達成率で見ると全体で159.4%となっており、一定の成果を得ることが出来ました。 今後は、これらの成果を踏まえ、平成23年度から平成27年度までを計画期間とする第二次行財政改革で、引き続き取り組んで参ります。

また、第一次行財政改革では行政コストを削減するだけでなく、重点的に取り組む必要性のある事業に対しましては、行財政改革により削減した財源を充当して、次のとおり積極的に取り組んで参りました

#### \*第一次行財政改革期間における重点施策

(単位:千円)

↑ 另一次1] 别以以早别间。	-0317 心主か	心水	(单位:十门)
項目	事業費	一般財源	内 容
子育て支援の充実	86,132	29,696	放課後児童クラブ施設整備
	35,152	14,526	放課後児童クラブ運営費
	74,127	9,751	子育て支援センター整備事業
	17,500	7,563	子育て支援センター運営費
	726	726	病児一時預かり事業
	12,902	12,902	育児用品助成事業
母子保健事業	127,468	87,581	乳幼児、児童及び生徒医療費補助事業
	3,718	3,257	こんにちは赤ちゃん事業
	1,420	1,291	新生児聴覚検査事業
	25,224	21,032	妊婦健康診査助成事業
	1,014	1,014	妊産婦歯科健康診査費用助成事業
	1,635	1,635	不妊治療支援事業
	3,416	853	女性特有のがん検診推進事業
予防接種事業	7,869	6,697	子宮頸がん予防ワクチン接種助成事業
	2,160	2,160	肺炎球菌ワクチン予防接種助成事業
	21,098	15,273	新型インフルエンザ予防接種助成事業
	1,124	595	ヒブワクチン接種助成事業
	1,621	886	小児用肺炎球菌ワクチン接種助成事業
障害者福祉対策	13,796	13,796	特定疾患医療交通費補助事業
高齢者福祉対策	1,992	1,992	高齢者目配り気配り老人クラブ事業
情報通信施設	205,601	9,954	移動通信用鉄塔整備
	632,643	122,093	CATV地上デジタル化
合 計	1,278,338	365,273	
百 訂	1,278,338	365,273	